

& Seig

No.
63
Jun.2025

特集

巻頭特集

[女子聖学院中学校・高等学校]
ディベート部
[聖学院中学校・高等学校]
物理部
ほか、各校文化部紹介

もえる！
文化部

留学生の課外活動
留学生もイキイキ活動中

保護者も参加！世代を超えたつながりの場
PTA同好会

各校・園
同窓会紹介

● 理事長メッセージ

● 新任教員の紹介

関係団体の皆さんにインタビュー
支える人たち
翠耀会事業部の皆さん



理事長メッセージ

社会に信頼され、貢献できる 学校法人を目指して

学校法人聖学院 理事長

小池 茂子

信頼される学校法人であり続けるために

聖学院では2023年度から2027年度までの5年間の中期目標を、第二期聖学院ビジョンとして法人と6つの学校が掲げ推進しています。また「教育研究質向上」「施設設備整備」「財政戦略」「人材・運営体制」「広報戦略・情報公開」の5領域ごとに、単年度でどこまで達成できたかを定量的に評価し、理事会が方針を決定する判断材料としています。

昨今、学校法人においては危機管理と情報公開が非常に重要な課題になっており、聖学院でもその点を重視しています。昨年度は、法人下にある学校の管理職を対象に危機管理と情報公開に関する研修会を実施いたしました。新たな私立学校法では内部統制システムの整備が求められています。また、私学法改正に伴い、学校法人聖学院でも、新たな理事会と評議員会を発足させ、理事会と評議員会の権限分掌と協働体制を構築することで良い緊張関係を保ち、社会的に信用を得られる学校経営を進めてまいります。

変化する社会の中で 求められるのは教育の質

急激に進む少子化の中、私学の競争は激しさを増しています。今、経営的には少子化が一番大きな課題だと感じております。そのような状況において何が大切かといえば、それはやはり聖学院で学ぶすべての在校生の幸に

つながるような良い教育を提供し続けることだと考えます。先の見えない社会と形容されるこれからの世の中で問われるのは、自分で生きていける力です。ただ、私たちの世界は自分一人の力だけでは生きていけないのも事実です。「他者と共に生きる力」を育てるため、園児から大学生まで、時には学外に出て、あるいは自分と異なる文化を持った人たちと協働して学び、体験的学習を通じて「生きる力」を獲得することを重視しています。

加えて今日の社会は「人生100年時代」とも言われています。学校で学んだことだけで、人生を生き抜く力、社会の要請に応える能力の全てを身につけることはできません。そのために生涯のどの時期にあっても必要な学びを自分で行える「学び方を学ぶ」そのような力を育むことも教育目標の一つと考えています。

駒込キャンパスでは、自分の賜物を見出し、それを他者のために使うという理念が教育活動に根づいており、その結果、自分の持てる良きものを用いて仕えるという精神を持つリーダーを多く輩出してきました。ここ数年は、駒込3校（聖学院小学校、聖学院中高、女子聖学院中高）が一体となって教育を推進する「教育デザイン開発センター」が開設されたことで、自信に満ち、自主的に他者に貢献しようとする生徒の姿が様々なシーンで見られるようになっていきます。このような姿の中にこそ聖学院の教育の真の成果が現れていると感じております。

一方、大学においては2026年度から人文学部に属している「欧米文化学科」が「国際文化学科」へと学科の名称を変更します。新たな名称の下で、より広い視野から世界の文化や成り立ちを学び、国際的に活躍できる専門人の育成を目指します。また、聖学院大学は留学生の受け入れにも力を入れております。日本語学校の教員が留学生を入学させたい大学として推薦する大学「日本留学アワード」を複数年度にわたって受賞しています。グローバルキャンパス構想も現在進行しており、学内そのものが国際的で多様性を受け入れる学修の場として成熟していくことを期待しています。

聖学院に関わる皆様へ

私学には建学の精神というものがあり、建学の精神に掲げられた教育を行い、その精神を体現した人を世に送り出していくことが私学の使命です。聖学院では、一人ひとりの存在を大切に、その人が培った力を、他者のために分かち合えるような人を育てる教育を行うことを目指しています。この建学の精神は時代や社会が変化していても、手放してはならないものだと考えています。このことを胸に刻み、これからも社会の要請に応えながら教育の質向上を図っていく所存です。そのためにも皆様のご支援、お力添えを今後ともよろしくお願いいたします。

もえる！ 文化部

教室など、主にインドアで活動しているため
実態が見えにくい文化部。

静的なイメージがありますが、大会出場や目標を定めたり、
みんな目指すものに向かって夢中になって取り組んでいます。
そこには外からは見えにくい熱い想いがありました。

CONTENTS

01_ 理事長メッセージ

巻頭特集

02_ もえる！ 文化部

03_ 女子聖学院中学校・高等学校
ディベート部／文化部紹介

06_ 聖学院大学 文化部紹介

07_ 聖学院中学校・高等学校
物理部／文化部紹介

10_ 聖学院小学校 文化部紹介

留学生の課外活動

11_ 留学生もイキイキ活動中

保護者も参加！世代を超えたつながりの場

12_ PTA 同好会

13_ 聖学院各校・園 同窓会紹介

15_ 新任教員の紹介

17_ ASF事務局からのご報告

関係団体の皆さんにインタビュー

19_ 支える人たち [翠耀会事業部の皆さん]

20_ Seig NEWS

35_ 聖学院歴史探訪 [特別編]

聖学院発祥の地記念碑建立

ASF NEWS No.63 アンケート

二次元コードから本誌の感想をお寄せください。
アンケートに回答いただいた方の中から抽選で10
名様に「聖学院オリジナルグッズ」をプレゼントい
たします。プレゼントの内容は当たってからのお楽
しみ！いただいたご意見は、編集の上、本誌にて
ご紹介させていただくことがあります。



- 有効回答期間 2025年6月26日～2025年8月31日
- 当選発表 当選者にはメールにてお知らせします。



本アンケートに関するお問い合わせ
聖学院広報センター Tel 03-3917-8530



ディベート部

女子聖学院中学校・高等学校



左から、TAさん 高校1年 / RMさん 高校2年 /
SAさん 高校2年・部長 / AIさん 高校2年・副部長
/ IKさん 高校2年・会計

いくつものことを頭で同時に処理をして、
臨機応変に思考を変える討論のチーム戦
ディベートには「カッコいい」魅力がある

女子聖学院中高にもディベート部があり、ディベート甲子園を目指して活動しています。部員数は中学5名、高校5名。机とホワイトボードが置かれた本館5階の教室が部チーム戦です。

り、その立論に対してお互いに質疑応答をし、反論を2回(第二反駁、第二反駁^{はんはく}を行い、資料も含めて説得力の比較で審判が勝敗を決めます。立論、質疑応答、反駁2回それぞれ1人ずつポジションのように分担して戦うチーム戦です。

ディベートとは、あるテーマについて賛成と反対に分かれて行う討論です。テーマへの理解や知識と、自分の主張を構築していく論理的思考力が求められるため、教育の現場でも取り入れられています。このディベートに、競技として真剣に向き合い研鑽を積んでいる部活動が全国に存在します。その日本を決める大会が「全国中学校ディベート選手権」通称「ディベート甲子園」です。ディベート甲子園は調査型ディベートと呼ばれ、事前に発表されたテーマについて、約半年かけてしっかり調査し、試合開始時に言い渡される賛成側 反対側に立つてお互いに議論を交わします。大会は中学の部と高校の部があり、いずれも試合は1校vs1校のマッチアップ形式。地区予選から全国大会まで同じテーマで論戦を繰り返します。競技ディベートは賛成反対



(上) 対戦相手の立論や質疑応答等を書き込んで反駁に使う「フロー」というシート。ぎっしり書き込まれています。
(左) 自分たちの主張を作るため、それぞれ調べてきたことをホワイトボードに書き出します。



活動風景。手前が中学生、右奥が高校生。それぞれ立論や資料作りの作業をしています。



部室の片隅には過去の大会トロフィーが飾ってあります。

今年は5月17日(土)に行われたGXディベート甲子園に高校生が参加し準優勝に輝きました。

- 部員数：10名(中学5名／高校5名)
- 活動日：月・木・土(大会前)
- 活動場所：本館5F
- 実績：中学校は全国大会準優勝3回、3位が1回。高校は全国大会準優勝1回／関東甲信越大会優勝2回／GXディベート甲子園準優勝。

室です。過去には中学が3回、高校が1回それぞれ全国大会準優勝に輝く他、高校は関東甲信越大会優勝の実績を残し、古豪ここうと言われています。ディベート部は2月にディベート甲子園のテーマが発表されると、部員総出でそのテーマについて調査し、調べたことを出し合って自分たちの主張を作っていきます。大会が近づく、それぞれの役割に分かれ、立論の台本を覚えて時間内に読む練習をしたり、論証資料を作ったり、対戦相手の立論を崩す質疑や反駁を考えたりします。さらに練習試合を通して自分たちの主張が通じるかを試したり、修正したりしながら、立論の精度を高めて6ヶ月過ぎます。

部員たちにディベート部のエピソードについて聞いたところ「入部した頃、2学年上にとっても優秀な先輩がいて、かっこいいと思いました。その先輩を目指しています」と答えしてくれた部員がいました。ディベートは難易度が高い競技です。立論は時間内に主張を聞き取りやすく伝えなければならぬ上、

質疑に的確に答えなければなりません。質疑応答は時間内に相手の縦はらひを作らなければなりません。反駁は相手の立論をフローとよばれるシートに書き取りつつ、自分たちの主張の方が有用であることを証明する筋道を考える必要があります。これらをスマートにこなす、人の心を動かせれば勝利を手に入れることができます。また彼女たちが口を揃えて言っていたことに「コミュニケーション」という言葉がありました。部員の1人は、記念祭でディベート部の模擬戦を見て「賛成側にも反対側にもなるその思考の柔軟さと、喧嘩ではなくて言葉で話し合える姿がかっこいい」と思い女子聖学院中高への入学を決めたそうです。争いではなくコミュニケーション。ディベートの魅力の一つに色々な意味でのかつこよさがあるようです。

また古豪と言われる強さについて聞くと、立論担当の部員が「距離感だと思います」と答えてくれました。「部員が多ければ調査や資料作りに厚みが出て有利になります。その反面、人数が多いとどうしても自分たちの主張に対する認識にズレが出てきます。そのズレが第一反駁と第二反駁の矛盾につながったりします。少人数だと認識のすり合わせのしやすさがあります。また、私たちは中学から一緒にやってお互いのことをよく知っています。学年の壁もなく、とても心の距離が近いと感じています。そこが強みになっていると思います。事実、30人も部員がいる強豪校をたつた3人で破った実績があります。

今年もディベート甲子園の季節になりました。各部員が自分の役割に分かれてそれぞれの武器を磨いている時期です。これから彼女たちの熱い戦いが始まります。

女子聖学院中学校・高等学校 [文化部紹介]

演劇部



新入生歓迎公演から初めて、中学は夏の交流会、私学大会、地区大会、記念祭公演、高校は北とびあ演劇祭、地区大会、記念祭公演、冬季発表会と、一年を通して舞台上に立つことを目指して練習に励んでいます。

- 部員数：15名
- 活動日：月・金・土
- 実績：中学＝都大会3回出場、高校＝都大会4回出場、北とびあ演劇祭第1回から連続参加、ギリシャ公演(神奈川県立緑ヶ丘高校と合同公演)、はいすくーどらまスペシャル3回出場

吹奏楽部



記念祭・3月定期演奏会の他に、「卒業生と祝うクリスマス」や高校卒業式といった学校行事でも演奏しています。また、夏にはコンクール、冬にはアンサンブルコンテストに出場して、演奏技術の向上を目指しています。

- 部員数：約40名
- 活動日：月・火・木・金・土
- 実績：昨年度実績＝第64回都中学吹奏楽コンクールB組銀賞／第64回都高校吹奏楽コンクール東日本組銀賞／第48回都高校アンサンブルコンテスト銀賞／第58回都中学アンサンブルコンテスト銀賞

女子聖学院中学校・高等学校

[文化部紹介]

茶道部



私たちの茶道部は先輩と後輩の仲が良く、和気藹々とした雰囲気あいあい
でまうで活動しています。正座が苦手でも大丈夫。お点前も女子聖OGのコーチが分かりやすく説明して下さいます。1月には「初釜」の経験もでき、浴衣や着物を自分で着られるようになります。毎回美味しいお菓子とお茶を堂々いただけるのは、茶道部ならではの、です！

- 部員数：40名
- 活動日：火曜日（主に中学生）、木曜日（主に高校生）

コーラス部



卒業生で現役のオペラ歌手であるコーチのもと、入学式や卒業式、クリスマス礼拝での聖歌隊の奉仕から、記念祭や行事ではディズニーやジブリ、ミュージカルの曲など、仲良く楽しく歌って活動しています。

- 部員数：6名
- 活動日：火・金

ハンドベルクワイア



女子聖学院のハンドベルクワイアの活動は記念祭やクリスマス礼拝での演奏です。レパートリーは、クラシック、ポップス、ディズニーなど多岐に渡ります。「個と全体の調和」を大切に、楽しみながら練習を重ねています。

- 部員数：6名
- 活動日：火・土

箏曲部



週に2回、生田流の指導者を招き、5階の和室で中高一緒に練習しています。古典曲から現代曲まで幅広く取り組み、技術の習得だけでなく、箏を奏でる喜びや楽しみを味わえるのが特徴です。合奏の編成も様々で、全国高等学校箏曲連盟の定期演奏会では、中学生も加えて全員で演奏しています。

- 部員数：12名
- 活動日：月・金
- 実績：毎年、全国高等学校箏曲連盟定期演奏会に出演（コンクールではなく演奏会）

[その他のクラブ]

英語部

- 活動日：月（放課後）・火（昼休み）

イラストレーション部

- 活動日：金

MPM (マスタートード・ピーシイズ・ミーティング)

- 活動日：火・木

華道部

- 活動日：金

軽音楽部

- 活動日：月・火・木・金

写真同好会

- 活動日：不定期

美術部

- 活動日：火・金

料理部

- 活動日：金・土

他



軽音楽部サウンドスクエア



日々自分たちの担当するギターやベース、ドラムの練習を行い、マイクや防音室にあるアンプの点検をし、大学内では完璧な状態で練習出来るように心がけています。他にもライブハウスをお借りしてライブを行ったり、地域の方に招待されてライブを実施しています。

- 部員数：35名
- 活動日：月・火・水・木・金
- 実績：3月の14日に定期演奏会という1年で1番大きなライブを行いました。

イラスト文芸部



日常的にイラストや文芸創作をテーマを決めて創作するほか、部員それぞれも自由に創作をし、部内の新聞も発行しているような自由な部活です! また毎年コミティアというイベントに「筆彩社」というサークルで参加して、みんなで作った作品を販売するなどイベントにも参加しています。

- 部員数：24名
- 活動日：月・火・水・木・金 (毎回集まらずそれぞれ自由に活動)
- 実績：2024年COMITIA150参加

教職クラブAssist'



教員採用試験や日本語検定の対策、模擬授業、語彙を鍛えるテーブルゲームなどを日常的な活動として行っています。また、中学校や高等学校の教育実習などの実習体験報告も行っています。そして、卒業生で現在実際に教員をしている先輩たちとの交流会や情報交換会なども行っています。

- 部員数：29名
- 活動日：月
- 実績：2024年度教員採用試験4名合格。
フリースクール、学習支援ボランティア多数参加。

キリスト教関連クラブ



大学にはキリスト教関連のクラブが4団体あります。聖歌隊とハンドベル・クワイア、グレイス (奉仕活動) とSCF (聖書研究) です。学生一人ひとりが日々、その活動を通して聖書の御言葉を体験しつつ成長し、その精神を体現しながら周りに向けて発信しています。

- 部員数：聖歌隊11名/ハンドベル・クワイア5名/グレイス19名/SCF 8名
- 活動日：聖歌隊 月・水/ハンドベル・クワイア 木/グレイス 金/SCF 火・金
- 実績：式典・礼拝・イベントなどでの奉仕活動、聖書の研究会や交流会など

[その他の文化系 部・同好会・公認団体 (2024年度)]

●部 茶道部 表千家/写真部/アカペラ部でてく/吹奏楽・管弦楽団 BPO

●同好会 手話同好会 しゅわっち/子どもボランティアサークル ポラリス/映画・アニメ同好会/将棋同好会 玉座の王将/カフェ同好会/ジェンダー勉強会 じゆうにという/家庭科同好会

●公認団体など 日本文化学会学生会/ボランティア活動支援センター・学生サポートメンバー (サポメン!)/防災戦隊マモルンジャー/学生団体 そよかぜ (被災地支援ボランティアグループ)/あそび場プロジェクト (子育て支援ボランティアグループ)/Petite Arche (プチ・アルシュ: SDGs推進ボランティアグループ)/留学生センター・チーム留学生センター/学生エンカレッジセンター・エンカレッジサポーター (学生ピアサポートグループ)/オープンキャンパススタッフ/入学前準備学習 (PUP) サポーター/キャリアサポートセンター/絶対就職するための研究会 (絶対就研)/図書館サポーター (セラエノ)/他





物理部

聖学院中学校・高等学校



まつおか たすく
松岡 救
聖学院中学校 3年
中学部長

やまがた ゆきとし
山縣 幸敏
聖学院高等学校 2年
高校部長

記念祭で物理部の発表に感動した小学生が
聖学院中高への進学を決意
目を輝かせて活動している姿が人をひきつける

放課後の物理実験室の扉を開けると、最初に押し寄せてくるのは、喧騒に近い活気です。一般的にはどこか物静かなイメージがある文化部ですが、聖学院中高の物理部にはそのイメージは当てはまりません。40人近い部員がいくつかのグループに分かれて、ドローンを飛ばし、あるいは部品を作り、顔を突き合わせてPCの画面に食い入り、侃々諤々^{かんかんかくかく}と議論を交わしています。

物理部は総部員数約50名という聖学院中高の人気クラブです。上級生は東京私立中高協会主催の「生徒理科研究発表会」で研究発表することを目標にしているものの、基本的には部員が好きなことをとことん突き詰めています。現在物理部には「宇宙エレベーター班」、「ドローン班」、「電子工作班」の三つの班があり、部員たちはいずれかの班に所属しています。

宇宙エレベーター班は、地上と宇宙ステーションをつなぐエレベーターを、レゴ®とモーターとケーブルで再現し、プログラミングによってロボットを動かすことをしています。毎年秋に「宇宙エレベーターロボット競技会」が開催され、その大会への出場が活動目標になっています。この大会ではいかに半自動で荷物を積み下ろし、カーゴの往復をさせるか、その工夫とプログラミングが鍵を握ります。聖学院中高からは昨年、4チーム（1



(上)はんだ付けで基板を作っている電子工作班

(左)レゴ®でエレベーターの自動開閉などのアイデアを試しながら議論をする宇宙エレベーター班



プログラミング飛行の誤差を計測しているドローン班



「宇宙エレベーターロボット競技会」全国大会へ出場を果たしました。

- 部員数：約50名
- 活動日：月・金・土
- 活動場所：物理実験室
- 実績：ドローンプログラミングコンテスト（ドロカッ）出場／生徒理科研究発表会登壇／宇宙エレベーターロボット競技大会グローバル部門全国大会出場

チーム4名が参加し、グローバル中高生部門に出場したチームは6位に入賞し全国大会への出場を果たしました。

ドローン班はドローンを制御するプログラム構築と、プログラミング飛行の誤差をデータ化して論文を作る活動をしています。ドローンを飛ばすことよりもプログラミングに比重が置かれています。ドローン班も昨年から「ドロカッ」というコンテストに参加しています。物理部の高校部長でドローン班の班長でもある山縣さんは「自分のプログラムでドローンが飛ぶことが楽しい」とドローンの魅力について語ります。

電子工作班は今年新しくできた班で、いつかロボットを作りたいというところから出発し、今ははんだごてで基板を作ったりラジオのFM送信機を作っています。他の班同様、

プログラムを併用して工作したものを動かします。

この班を作ったのは中学部長の松岡さん。松岡さんは小学校3年生の時に記念祭で物理部の四足歩行ロボットのデモンストレーションを見て衝撃を受け「自分が行く道はここだ」と聖学院中学への進学を決めました。残念なことに入学した時には四足歩行ロボット班はなくなりましたが、松岡さんは「なければ自分で作れば良い」と、自分の好きな電子工作全般ができるこの班を創設したそうです。「子どもの頃、自分で作ったものが電気で動くことに感動しました。その感動を他の人にも味わってほしいと思いました。」と松岡さんは創設時のことを振り返ります。

物理部の活動について顧問の諸橋陸先生は「生徒には授業で学んだことはもちろん、日常のことも良いので、それらをもとにして、自分で何かを生み出すということを体験してほしいと思っています。またそれは自分が今まで培ってきたものが開花することを意味します。生徒が学ぶ意味を感じられる大切な瞬間でもあります」と言います。

ドローン班班長の山縣さんは、先輩に誘われて入部したそうで、物理部の感想を聞くと「とにかく楽しい」と答えてくれました。電子工作班の松岡さんは「ワクワクがとまらない」そうです。何かに夢中になるということはそれ自体がとても貴重な経験です。好きだから調べる、好きだから身につく。それは探究を重視する聖学院中高の学びそのもののように思います。部活動のモチベーションは文化部、運動部問わず「楽しい」という感情です。聖学院中高の物理部はその熱量が桁違いでした。

聖学院中学校・高等学校 [文化部紹介]

フォト・メディア探究部



フォト・メディア探究部は、映像業界や先端技術に触れる活動を通じて、生徒の創造力と探究心を育てています。AOI Pro.の新オフィスで映像制作の現場を見学。「TOKYO MIDTOWN AWARD」の展示会等で、3Dプリント技術や光弾性の活用など、表現の多様性を学習。ニコンの新オフィス訪問で最先端の光学技術や映像表現の可能性について理解を深めるなど、生徒たちは実社会との接点から、自らの視点で世界を捉える力を養っています。

- 部員数：20名
- 活動日：金

鉄道研究部 (中学) 旅と鉄道部 (高校)



鉄道模型の走行会や、夏休み、記念祭のイベントについて考えています。駅や風景のミニジオラマを作成し、夏休みに実施する「鉄道模型コンテスト」に出場しています。青春18きっぷを利用して夏合宿をしたり、鉄道貸切乗車会を実施するなど「鉄分」補給に努めています。

- 部員数：中学33名／高校30名
- 活動日：月・金（イベントが近づくと集中して活動）
- 実績：鉄道模型コンテストに十数年参加。昨年は小田急線参宮橋駅を制作。過去には駒込駅も制作。一昨年は夏合宿にてサンライズ瀬戸に乗車。

聖学院中学校・高等学校

[文化部紹介]

生物部



生きものが大好きな人の集まりです。日常的には、アオジタカゲやギリシャリクガメ、グッピーなど爬虫類や魚類を中心に飼育・観察することが主な活動内容となっています。活動を通して、小さな命の神秘と神の創造の妙を感じてほしいと思っています。

- 部員数：25名
- 活動日：月・木

化学部



様々な化学実験を通じて化学の面白さを楽しみながら追求するクラブです。普段の活動は不定期ですが、学校説明会や記念祭といったイベントに際して集中的に準備に取り組みます。特に記念祭では展示大賞を何度も受賞するほどのクオリティで、来場者を毎年魅了しています。

- 部員数：39名
- 活動日：不定期
- 実績：2023年度記念祭 企画総合優勝

ベリアン会



聖学院創立以来、100年以上続く聖書研究会です。熱心に聖書を学んでいたベレア（聖書に登場する町）の人々にちなんで、初代校長石川角次郎が、平理安會（ベリアン会／キリストが与える真「理」がもたらす「平安」の意）と名付けました。

- 部員数：非会員制・参加生徒は毎回5～6名
- 活動日：水
- 実績：毎週聖書を学び、お祈りしています。1939年にはベリアン会主催で蓼科山に登り、それが現在の中2の夏期学校（蝶ヶ岳登山）の基となっています。

吹奏楽部 (中学) 音楽部 (高校)



吹奏楽部＝楽器を通して音楽を奏でていく楽しさ、メロディーやハーモニーを知り、ソロ・アンサンブル・合奏と多様な組み合わせの演奏につなげています。／音楽部＝「自分の声」を使い、ハモる楽しさ・表現する楽しさを見つけられるように日々練習をしています。聖歌合唱交歓会での奉唱、記念祭へ向けた様々なジャンルの曲を練習します。

- 部員数：24名
- 活動日：吹奏楽部＝火・水・土／音楽部＝木・金
- 実績：東京都高等学校吹奏楽コンクール銅賞／東京都中学アンサンブルコンテスト銅賞／東京都高校アンサンブルコンテスト銅賞

[その他のクラブ]

映画研究部
●活動日：月・火

美術部
●活動日：火・金・土

レゴ&ハンディクラフト部
●活動日：月・火

文藝同好会
●活動日：木・土

自動車研究同好会
●活動日：金

他



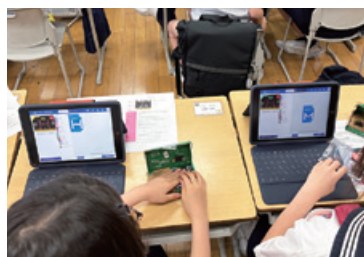
ハンドベルクラブ



- 参加児童数：14名
(4年生6名／5年生5名／6年生3名)
- 活動場所：チャペル
- 特別練習：
点火式やクリスマスページェントなどの行事前には特別練習が行われます。

ハンドベルクラブは、点火式、クリスマスページェント、ハンドベル発表会や卒業式などで演奏しています。発表の機会が多いことが特徴で、練習を含めて楽しく活動が行われています。一人ひとりの音を大切にしてみんなで素敵な音楽を奏でています。

iPadクラブ



- 参加児童数：22名
(4年生10名／5年生7名／6年生5名)
- 活動場所：教室

iPadを使って、児童の創造力、思考力、表現力を高める活動を行っています。micro:bit(教育向けマイコンボード)を使って様々なプログラミングをします。

フラワーアレンジメントクラブ



- 参加児童数：20名
(4年生3名／5年生7名／6年生10名)
- 活動場所：教室
- 校外学習：
年によっては展覧会に行くことがあります。

お花を見ると、思わず笑顔になり、心が癒されます。美しい花たちが、どんな風に飾られたかっているのか想像力をはたらかせて、アレンジメントを楽しんでいます。クリスマス飾り、コサージュ、ハーバリウム(小瓶にオイルにつけたお花を入れたもの)などを作ります。作品は自宅に持ち帰ります。

油絵クラブ



- 参加児童数：14名
(4年生4名／5年生6名／6年生4名)
- 活動場所：図工室
- 作品展示：
児童の作品は、図工室前に展示される他、児童作品展の際には、授業で制作された作品と一緒に校内に展示されます。

思いっきり・のびのびと・楽しく、をモットーに、小学生はふだん使わない油絵の具と、アクリルガッシュを使ってキャンバスに油絵を描きます。野菜や果物をモチーフとした静物画(写真)や風景画、人物画を描いています。毎年1回、上野の国立西洋美術館が東京都美術館に作品鑑賞に行きます。

聖学院小学校の クラブ活動

聖学院小学校では4年生以上の児童全員がいずれかのクラブに参加してクラブ活動を行います。クラブは5つの文化系のクラブと7つの運動系クラブがあります。活動は年間15回程度で、毎回、課外ではなく授業の時間内に実施されています。

劇遊びクラブ



- 参加児童数：17名
(4年生6名／5年生7名／6年生4名)
- 活動場所：
3F ラーニングコモンズ
- 校外学習：
年によっては劇の鑑賞に行くことがあります。

劇は英語にいいかえると「ドラマ」です。泣いたり笑ったり、怒ったり…。そんな場面をみんなて劇にして遊んでいます。専用の道具や費用は不要で、メンバー同士がお互いを大切に思いながら活動を行っています。毎年1、2回の公演を行っています。



イキイキ

留学生も活動中

留学生同士が支え合って、
勉強だけでは得られない成長を実感しています



さいたま北商工協同組合が主催する「さいたまKI-TAまつり」に参加した時の様子。「地元の一員になれたようでうれしかった」とメンバーは口を揃えて言います。



おかむら かよ
岡村 佳代
聖学院大学 教授
留学生センター長

中学、高校および大学において部活動をはじめとする課外活動には意義があり、授業やアルバイトとはまた違う楽しさがあります。しかし留学生にとつて、サークルや部活動への参加は簡単なことではありません。母国語ではない講義についていくため、予習復習の時間が当然長くなるでしょうし、加えて日本語の検定試験の勉強をしている学生もいます。日本人の輪の中に入っていくと、自己、言語や心理的ハードルがあります。そんなハードルを下げ、留学生にとつての課外活動の機会となつていくのが『チーム留学生センター』です。その名の通り、留学生センターが提案する課外活動で、参加メンバーはほぼ留学生です。活動内容は、留学生同士や留学生と日本人の交流を行うイベントの企画と運営など。例えば、入学したての留学生にとつて、履修や学生生活に関する情報を、全学生向けのオリエンテーションだけで理解するのは困難で

す。そんな新入留学生のために歓迎会を開き、留学生同士で交流を深めながら先輩留学生にいろいろな質問する機会を設けています。他にも「お祭り」や「童話」などのテーマを決めて、それぞれの出身国の文化を紹介する国際交流会なども開催しています。昨年はこの企画に、日本人も含めた90名の学生が参加して大盛況でした。

メンバーに参加した感想を聞くと「もともと内向的でしたが、『チーム留学生センター』に参加してどんどん社交的になり、今では自分の意見が堂々とと言えるようになりました」と答えてくれました。またこの活動を通して、日本人学生との交流が生まれ、茶道部や公認団体など日本人中心のサークルや部活に興味を示すメンバーもいます。「チームで動く難しさがある反面、力を合わせて何かを成し遂げていく経験は、自分の成長を実感しやすく自信にもつながっていると思います」と話すのは留学生センター長の岡村佳代先生。留学生の課外活動の意義について教えてくれました。今後の目標は「日本人学生にももっと参加してもらい、このつながりを一層大きくしていきたい」とのことです。

2024年の活動実績

- 新入留学生歓迎会 開催 (4月)
- 国際交流会 開催 (6月)
- 留学生オープンキャンパス サポート (8月/9月/10月)
- ヴェリタス祭 出店 (11月)
- さいたまKI-TAまつり 出店 (11月)
- 留学生日本語弁論大会 開催 (12月)





PTA同好会

保護者も参加！
世代を超えたつながりの場

聖学院には、在校生のクラブ活動のほかに、保護者が参加できる同好会があります。

聖学院小学校PTA宗教部に所属する保護者の聖歌隊「コールシャロン」は、月曜日午前に練習を行い、学校の音楽会やPTA聖書研究会、PTAクリスマス礼拝で讃美奉献をしています。また、ハンドベル同好会「Gクレフ」は、子どもたちが授業で使っているハンドベルを保護者も演奏してみたいという声から誕生した同好会で、PTA聖書研究会、PTAクリスマス礼拝、ハンドベル発表会などで美しい音色を響かせています。こうした活動は、音楽を通じて保護者同士がつながりを持つ機会となっています。

来年、創立50周年を迎える女子聖学院PTA同好会は、在校生保護者だけでなく、卒業生の保護者も参加できるというユニークな活動の場として、長きにわたり親しまれています。発足したのは1976年6月21日。当初から14部があり、中にはこの部だけで100名もの部員を擁するほど活況を呈していた時期もありました。現在の参加者は12の部で150名程度、卒業生の保護者も多く、「現役時代には忙しくて参加できなかった」、「卒業して学校が恋しくなり、再びこの場所に戻ってきた」という声も聞かれます。80代の先輩から若い世代まで、幅広い年代の参加者がそれぞれの交流を楽しんでいます。

保護者の同好会の魅力は、かけがえのない「居場所」となっていることです。熱心に練習に励んで上達することや、記念祭やクリスマス礼拝などで発表することをめざすだけでなく、練習後にランチを共にすることで親睦を深めたり、共通の話題で盛り上がりたり、人生経験豊富な先輩に日頃の悩みを相談したりと、参加者にとって日々の生活に彩りを与えてくれる存在となっています。活動を運営する現役保護者の数が減少傾向にあることや、指導者の後継者探しの難しさなどの課題もあります。PTA同好会は保護者の学校への愛情に支えられ、かけがえのない「居場所」として大切に受け継がれています。世代を超えた交流を育むこの貴重な場所が、これからも長く続いていくことが期待されます。

各校保護者の 同好会一覧



※活動日は2025年度のもので、
参加ご希望の方は各校事務室に
お問い合わせ下さい。

〔聖学院小学校〕

- 聖歌隊 コールシャロン
[活動日：月曜（午前）]
- ハンドベル同好会 Gクレフ
[活動日：月曜（午後）]

〔女子聖学院中学校・高等学校〕

- 古典部
[活動日：第2火曜（13:00～15:00）]
- ハイキング部
[活動日：第2土曜（7・8月除く）]
- 着付部
[活動日：水曜／月2回（10:30～12:30）]
- 手編み部
[活動日：第1・第3月曜（13:30～15:30）]
- 手話部
[活動日：水曜／月3～4回（13:00～15:00）]
- 七宝焼部
[活動日：第2以外の火曜（10:30～16:00）]

- ハンドベル部 Fidelia Ringers
[活動日：土曜／約月2～4回（9:30～12:30）]
- コーラス部 コールママン
[活動日：火曜／約月2回（13:00～15:00）]
- 箏曲部
[活動日：金曜／月2回（13:30～15:30）]
- バドミントン部
[活動日：主に土曜／学期ごとに変動（12:30～13:10）]
- 薙刀部
[活動日：土曜／月2～4回（12:30～13:10）]
- ハンドメイド倶楽部
[活動日：第3・第4土曜（12:30～16:30）]

同窓会紹介

聖学院各校・園の
同窓会活動についてご紹介します。



聖学院小学校

聖学院小学校同窓会 「ぶどうの木」

設立 1991年

代表者 勝倉 雄二

<https://primary.seigakuin.ed.jp/category/graduate-news/>

●2024年度の主な活動報告

- ・4月6日 代議員会開催
- ・6月8日 ぶどうの木総会開催
- ・9月21日 聖学院フェアへの参加

●2025年度の主な活動予定

2025年度も昨年に引き続き、代議員会開催、総会開催、聖学院フェアへの参加を予定しています。

加えて昨今の社会情勢の求めに応じた会員の皆様の情報管理の強化を図り、活動の基盤をしっかりと固めていく予定です。

なお、会員の皆様とのコミュニケーション手段のスピードアップと多様化を目的として立ち上げた、ぶどうの木の公式Lineページの登録会員は、まだ330名程度ではありますが、積極的に活用して定期的に情報を提供していきます。

●卒業生へのメッセージ

今年も聖学院フェアに同窓会コーナーとして参加を予定しています。この機会にぜひ小学校に遊びに来てください。また卒業生の皆様のお手伝いなど、ぶどうの木の活動にご参加いただける方を広く求めています。詳細は、ホームページ、公式Lineでご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



女子聖学院中学校・高等学校

女子聖学院中学校・ 高等学校「翠耀会」

設立 1918年

代表者 大塚 明子

<https://www.joshiseigakuin.ed.jp/suiyoukai/>

●2024年度の主な活動報告

総会をはじめ、諸行事は例年通り実施され、特に「卒業生と祝うクリスマス」には多くの同窓生が集い楽しいクリスマスとなりました。3月の学年代表委員会は平日昼に実施のため、「現役」世代の皆さんはご出席が難しいと思いますが、皆さんからご意見や情報をいただく大切な機会です。多くの学年代表のご参加をお待ちしております。

●2025年度の主な活動

総会後のコンサートは、翠耀会館をご利用のコーラスグループの皆さんと聖書研究会有志による発表会を行いました。また、今年初めて、総会第二部終了後に77回卒の皆さんの第一回のホームカミングを翠耀会主催で行いました。

●卒業生へのメッセージ

毎年、5月初旬に「翠耀」は届いていますか？改姓やお引越をされたときは、変更届をご提出下さい。「翠耀」で、同窓会は卒業生の皆さんに母校と在校生の今をお知らせしています。また、最新の情報は、女子聖学院中高のホームページの翠耀会の欄をお訪ねください。「変更届」は、下記の番号まで。

TEL：03-3915-7354（月～金13:30～15:00）

FAX：03-3209-4288



聖学院中学校・高等学校

聖学院中学校・ 高等学校同窓会

設立 1926年

代表者 大徳和人

<https://seig-boys.net/>

●2024年度の主な活動報告

聖学院同窓会会長の大徳です。第117期定時総会におきまして、会長を拝命いたしました。多くの先輩方から受け継がれてきた歴史と伝統ある聖学院同窓会の代表ですので、身の引き締まる思いです。

2024年度も同期会、各種OB会が行われ、親交を深め合いました。また在校生との絆として同窓会よりクラブ活動援助を行いました。

●2025年度の主な活動

5/24（土）～25

（日）に、糸魚川農村

体験学習40周年企画

として「聖学院の心

のふるさと 糸魚川

へおかえりなさい」と

題して親睦旅行会を

開催しました。

2025年も同期会、各

種OB会の開催を呼びかけ、またさらに世代

を超えた同窓生の一人ひとりが楽しく集える

という企画を徐々に立ち上げております。



●卒業生へのメッセージ

聖学院同窓会としては来年100周年、学校創立120周年となるメモリアルイヤーとなります。

同窓会では「より開かれた同窓会であること」

「帰りたいときに帰れる同窓会」を目指しています。そのために世代を超えた結束を深めていくことを目指し「WE ARE SEIGAKUIN!」をテーマに掲げて邁進しております。

これからもご協力、ご支援をお願いいたします。



※住所変更等の連絡は、各校・園の同窓会、事務局、
またはASF事務局までお知らせください。
ASF事務局：03-3917-8530（月～金 9:00～17:00）
pr_h@seigakuin-univ.ac.jp



聖学院広報センターnote公式アカウントで、
卒業生の紹介記事を配信しています。
ぜひご覧ください。



聖学院みどり幼稚園

聖学院みどり幼稚園 同窓会

設 立 2007年
代表者 小山 浩史
<https://midori.seigakuin.ed.jp/>

●2024年度の主な活動報告

・同窓会

7月の海の日に毎年開催しています。昔のままのプレイルームに入ると、皆さん「懐かしい〜」といわれます。大きな積み木、園庭のジャングルジムなど、昔のまま残っています。同窓生の親と子ども、親子3代でご参加される方、退職された先生もご出席されて、昔ばなしに花が咲きます。手作りの素朴な会ですが、毎年多くの方にご参加いただいています。

・フェスタ

2023年度より大学のヴェリタス祭と同日に開催しています。
飲食物の販売や、アートフォトフレームのワークショップ、幼稚園での活動の様子のアルバム展示を行いました。（アルバムは第1回の入園生の分からあります）

●2025年度の活動予定と

卒園生へのメッセージ

- ・つくしの会：4月29日
- ・同窓会：7月21日（海の日）
- ・フェスタ：11月1日

同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。



聖学院大学

聖学院大学 同窓会

設 立 1993年
代表者 島田 大輔
<https://www.seig-dousou.com/>

●2024年度の主な活動報告

・会報誌の発行

同窓会会報誌「CROSS POINT Vol.34」を10月に発行し、同窓生へ送付しました。

・ヴェリタス祭への参加

ヴェリタス祭で、ホームカミングの場として毎年行っているカフェを今年も実施しました。

・ボランティア、まちづくり活動助成事業へ審査員として参加

学内の学生ボランティア団体の活動助成を同窓会が支援しており、その公開審査会へ審査員として参加しました。

●2025年度の活動予定

・ボランティア・まちづくり活動助成事業への支援

学内の学生ボランティア団体に同窓会が活動助成を支援しており、活動助成の公開審査会に審査員として参加します。

・11月に行われるヴェリタス祭においてホームカミングの実施を検討しています。

・同窓会会報誌「CROSS POINT Vol.35」の発行を計画しています。

●卒業生へのメッセージ

同窓会では一緒に活動していただける役員を募集しています。活動にご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームよりご連絡いただけたらと思います。



聖学院幼稚園

聖学院幼稚園 同窓会

設 立 1972年
代表者 本橋 喜久子
<https://kinder.seigakuin.ed.jp/>

●2024年度の主な活動報告

20歳になった卒園生（2010年度卒）のホームカミングを3月20日（木・祝）におこないました。この学年は東日本大震災により卒園式が延期された学年であり、卒園時期が大変な時でしたが、大きくなった卒園生と保護者の方を「おかえりなさい」と迎えることが出来ました。

会の初めに礼拝をして、こどもさんびか「きよいあさあけて」を歌い、神様に感謝のお祈りをしました。旧職員の先生方もお越しくださり、1人ずつ近況報告や懐かしい思い出話をし、また一緒に笑い合う時をもつことができました。今回、参加出来なかった皆さんのことも思いながら、それぞれの道を元気に歩み、いつの日か再会出来るようにと願いました。

●2025年度の活動予定

20歳になった卒園生（2011年度卒）を迎えるホームカミングを2026年3月20日（金・祝）に開催予定です。2026年1月中にお知らせのハガキを卒園時の住所にお送りします。

●卒園生へのメッセージ

みなさん、お元気にお過ごしですか？それぞれの道を歩まれていることと思います。大きくなったみなさんを幼稚園は待っています！ホームカミングで帰って来て、小さかった時を思いだしてみませんか！ホールのロティもお庭の汽車ぽっぽも待っていますよ。保護者の方の参加も大歓迎です。



皆様の温かいご支援に 心より感謝申し上げます

2024年度 ASF募金総額

665件
2億4,903万3,137円

(2025年3月31日現在)

2024年度も、各校同窓会、PTA、後援会等の団体、関係企業、また卒業生、保護者等多くの皆様にご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。

2025年度、女子聖学院中高が創立120周年を迎えました。120周年を記念して記念誌の発行などを予定しています。また、2026年度には、聖学院中高が創立120周年を迎えます。聖学院各校での学びがさらに充実していくよう、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2024年度募金実績報告と寄付者御芳名については、ASFホームページにてご紹介しています。こちらをご覧ください。



プロジェクト区分	2024年度合計	
	件数	金額(単位:円)
教育および施設設備充実(大学院)	8	500,000
教育および施設設備充実(大学)	212	47,011,101
教育および施設設備充実(聖学院中高)	108	122,878,923
教育および施設設備充実(女子聖中高)	107	48,256,039
教育および施設設備充実(小学校・幼稚園)	86	27,499,074
教育および施設設備充実(みどり幼稚園)	54	336,500
奨学金(大学)	46	212,000
奨学金(聖学院中高)	23	1,700,000
奨学金(女子聖中高)	20	129,500
奨学金(小学校)	1	510,000
合計	665	249,033,137

※各校のプロジェクトにいただいた寄付は該当校の事業に用いさせていただきます。

2024年度 実施事業の一部をご紹介します

教育および施設設備充実

●聖学院大学

図書館空調更新工事／防犯カメラシステム更新工事／大学HPリニューアル(第1期) ほか

●聖学院中高

本館教室照明LED化工事／フューチャーセンターC改装工事／生徒用ネットワーク改善工事 ほか

●女子聖学院中高

教員用ノートPC更新／印刷機・プロジェクター更新 ほか

●聖学院小学校・聖学院幼稚園

校舎・園舎外壁等大規模修繕工事／防犯カメラ更新交換工事(幼稚園) ほか

●聖学院みどり幼稚園

園舎中規模修繕工事／教具・遊具・ICT整備 ほか

奨学金

●聖学院中高／女子聖学院中高／聖学院小学校
奨学金として、計20件支給

Topics

1

2024年度、聖学院小学校校舎、 聖学院幼稚園園舎の 大規模修繕工事を行いました

聖学院小学校校舎（2014年12月竣工）、聖学院幼稚園園舎（2012年12月竣工）の外壁等大規模修繕工事を実施しました。これにより、建物の安全性や耐久性が向上し、園児・児童が安全に過ごせる校舎・園舎となりました。



2

女子聖学院創立120周年を記念して、 生徒ラウンジがオープンしました

女子聖学院後援会の支援により、クローソンホールの中に生徒たちのためのラウンジが誕生しました。テーブルと椅子が設置され、生徒たちが自由に使うことができる場所となっています。2025年5月30日（金）にオープニングセレモニーが行われました。

10月には120周年記念式典、城築昭雄先生の編纂による女子聖学院の歴史（1988-2020）をまとめた記念誌の発行も予定されています。



2025年度寄付者プレゼントのご案内

2025年度、年間の寄付額が1万円以上の方に、聖学院オリジナルロゴ入りバードコールをプレゼントします。また、年間の寄付額が10万円以上の方に、聖学院オリジナルロゴ入りサーモス水筒を差し上げます。（※個人の方対象、年度内1回のみ）



2025年度ASF募金へ のご協力をお願いいたします



※郵便振込、クレジットカード、銀行振込（ペイジー）、コンビニ支払が可能です。また、個人・法人共に税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくはこちらをご覧ください。

卒業生が運営する
手作り弁当も作っている
購買部

支える 人たち

聖学院を外から支えてくださっている人たちに
聖学院への想いをうかがってみました。

No.
12

すいよう 翠耀会事業部の 皆さん

女子聖学院同窓会「翠耀会」が母校の購買部（当初は喫茶部）を運営するために1963年に設立。販売というより母校支援が運営目的で、その姿勢は現在も変わらない。1980年代から手作りお弁当を開始。ドライカレー、明太子パスタは長年作り続けられている伝統の味となっている。現在10人の部員が毎日4人ずつローテーションで担当している。



木曜日担当のメンバー 4名

生徒の成長する姿が見られる
それが仕事の楽しみになっています

女子聖学院中高の本館の向かいにある購買部。女子聖学院同窓会「すいよう 翠耀会」事業部によって運営されています。スタッフは全て有志の卒業生。今はコロナ禍や物価上昇の影響で難しくなっていますが、利益が出た分は母校にそのまま寄付していました。翠耀会事業部の皆さんに、業務の内容や母校、後輩への思いをうかがいました。

「翠耀会事業部では、文房具や体操着、上履きなどの学用品の販売を行っています。また1980年頃から、お弁当作りとその販売も加わりました。その頃から共働き家庭が一般化し、お弁当を持参できない生徒が増えたという背景があります。お弁当販売の課題として、作る数の問題があります。作りますと余ってしまいますし、とはいえ足りない昼食が食べられない生徒が出てしまいます。そこで2年前から予約制を導入しました。以前、保護者から『購買部のお弁当は売り切れるかもしれないから不安』という意見を聞いたことがあります。予約できればその不安も解消できます。また私たちも販売数が見えるので過剰生産を防いでいます。他にも、メニューを増やす

など、生徒・教職員の皆さんが楽しいお昼を過ごせるように工夫を凝らしています。

学用品、お昼ご飯の販売のほかに、最近では女子聖学院中高が取り組んでいるSDGsのプロジェクト活動（環境エコプロジェクト）で生徒と接点があります。彼女たちは菜園に利用するコンポスト堆肥作りのための生ごみ回収や、プラゴミ削減のための分別用ゴミ箱設置の依頼でここに来ることがあります。生徒が社会に貢献できることを考えて行動している姿を見て、私たちも応援したいと思い協力しています。」

翠耀会事業部の皆さんに、心掛けていることを聞くと「生徒にとって、教室とは別の、なんでも話せる相手でありたいと思っています」と答えてくれました。時には生徒から成績や学校生活の悩みを聞くこともあるそうです。先ほどの言葉の通り、親や教員とは別の距離感で話せる関係だからかもしれません。女子聖学院中高の購買部は、後輩を見守る温かい眼差しで運営されていました。

まだまだあります！

Seig NEWS

学生も生徒も教員も職員も
次のステップへと
日々新しい試みをしています。

— 聖学院各校・園から寄せられたニュースをお届けします —

聖学院大学



2026年4月 人文学部欧米文化学科は 国際文化学科※へ生まれ変わります

聖学院大学人文学部欧米文化学科は、1992年の設立以来、ヨーロッパとアメリカの思想・文化・言語を軸に教育・研究を行ってまいりましたが、国際社会の多様化に対応する中で、学科名称と教育内容にズレが生じてきたことも事実です。そこで、本学科の学びをより正確に伝えるため、「国際文化学科」へ名称を変更することとなりました。学びの内容や教育方針、カリキュラム、資格課程に変更はなく、これまでと同様に、今後も国際的視野を持ち、多文化共生社会に貢献できる人材の育成を目指します。

※2026年4月より「欧米文化学科」は「国際文化学科」に学科名称変更予定

聖学院大学



新しい学びの仕組み 全学共通教育プログラム 「聖学院エッセンシャルズ」始動！

聖学院大学の学びは入学前から始まり、基礎、専門、そして卒業後とつながっています。2025年4月、従来より大切にしてきた聖学院大学におけるリベラルアーツの学びをさらに体系化させ、新たに全学共通教育プログラム「聖学院エッセンシャルズ」としてスタートいたしました。聖学院大学に在籍するすべての学生が履修し、これからの社会を生きる上で、基盤となる素養を、学部学科を越え学びます。新設科目の「聖学院大学論」では、大学の役割や社会における意義を知り、自分自身の学びと将来について深く考える機会を持ちます。



「聖学院大学論」パイプオルガン体験会の様子 — 聖学院大学の理念に根差した教育実践、文化発信の一環として

※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入し、SDGsを目指した活動を行っています。

聖学院大学総合研究所



『SDGsで世界を探求する
——9つのテーマから学ぶ』が
発行されました

聖学院大学サステイナビリティセンター監修、鈴木詩衣菜編
の本書は、聖学院だからこそ発信できる9つの学際色豊かな視
点から、SDGsの世界が展開されています。SDGsの17の目標を直
接的かつ横断的に概観することができる「最初の専門書」となっ
ています。

7月9日(水)には、本書の出版を記念したイベントが「刊行記念
イベント『SDGsで世界を探求する——9つのテーマから学ぶ』」
と題し本学チャペルで開催されます。イベントでは、著者から直
接お話を聞くほか、テーマ別にSDGsへの思いを共有します。



聖学院中学校・高等学校

女子聖学院中学校・高等学校



今年のSDGsプロジェクトは
Ongoing部とPioneer部の
2チーム体制！

これまで聖学院中高、女子聖学院中高合同でSDGsプロジェクト
の活動を行ってきました。5年目となる今年のSDGsプロジェクトは、
昨年までの環境エコ活動を継続するOngoing部と、新テーマを設定
して活動をするPioneer部の2チーム体制で運用していきます。

5月13日(火)に聖学院中高ガイホールにて、Pioneer部の募集説
明会が開催され、聖学院中高、女子聖学院中高合わせて約50名の
生徒が参加しました。Pioneer部は6月中旬にキックオフ、ポスト
SDGsを見据えて課題への挑戦が検討されていきます。



聖学院中学校・高等学校



開志専門職大学と 高大連携協定を締結

この度、聖学院高等学校とNSGグループ 学校法人 新潟総合学
院 開志専門職大学（新潟県新潟市、理事長：池田祥護、学長：各務
茂夫）は、高大連携協定を結び、4月9日（水）に締結式を行いまし
た。大学の特色ある教育、研究に触れる機会の高校生への提供、
授業、実習を通じた、大学の単位認定に関すること、を具現化する
プログラムとして、中3～高2生徒を対象とする「開志起業塾」の1学
期からの開講を行います。大学教員が執筆した書籍を用いて、起業
家育成をベースとした年間約30コマの講義を予定。一定の基準を満
たすことで、開志専門職大学に入学した場合の単位認定を検討して
います。



女子聖学院中学校・高等学校



つながりから始まる学び

5月、中学1年生は入学から約1カ月が経つ中で、友達とのつながりを深めることを目的に「グループ・エンカウンター」に取り組みました。今回は新聞紙だけを使って15分間でどれだけ高いタワーを作れるかを競う「新聞紙タワーづくり」に挑戦。活動では「自分の考えを口に出すこと」「他の人の意見に耳と心を向けること」の2点を意識しました。振り返りでは、土台の重要性や、発言の達成感など多くの気づきが生まれ、「自分らしさ」と「他者尊重」を育む時間となりました。



聖学院小学校

聖学院幼稚園



幼稚園と小学校の教職員が共に学ぶ一日

校庭をはさむように幼稚園と小学校は同じ敷地にあり、教職員の兼務や、朝の打ち合わせ、歓迎会から送別会に至るまで一緒に行ってきました。そして4月4日

(金)、今回初めてとなる幼小合同の研修会を行いました。テーマは「協同学習」。集団の中で一人ひとりの賜物が活かされる学びです。授業で使うことの多い手法ですが、幼稚園でも年長組や教職員間での活用の可能性を感じる一日でした。これからは、連携を深めるだけでなく、共に学び合う仲間として互いに成長する聖学院幼稚園・聖学院小学校でありたいと願っています。



ソニー教育財団の2024年度保育実践論文 「奨励園 保育みらい賞」を受賞

ソニー教育財団の2024年度保育実践論文に応募した結果、聖学院みどり幼稚園は、「奨励園 保育みらい賞」を受賞しました。応募件数148件中、上位10位に次ぐ受賞となり、また「奨励園」62園の中から個性的な論文の4園に贈られる賞として選ばれることができました。ソニー教育財団の方からは、「十何年も応募し続けて受賞できない園も数多くあるなかで、初めての応募で受賞はすごい」というお話しもいただいています。これからも、子どもたちの心の土台を育てていくために、教職員のみならず、保護者、地域の方々と共に歩んでゆきます。



2025年度学校説明会、記念祭等日程

今後、実施される聖学院各校の7月以降のオープンキャンパス、学校説明会等の情報を掲載いたしました。ASF NEWSを読まれて、ご興味・ご関心を持たれた方はぜひご参加ください。参加には予約が必要な場合がございます。各校のホームページにてご確認ください。

聖学院大学

- オープンキャンパス 7/19 (土) / 8/2 (土) / 8/11 (月・休) / 8/16 (土) / 9/23 (火・休) / 10/11 (土) / 11/1 (土) / 11/22 (土) / 3/28 (土)
- 指定校制推薦入試対策講座 9/23 (火・休) / 10/11 (土)
- ヴェリタス祭公開日 10/31 (金) / 11/1 (土)

聖学院大学大学院

- 入試説明会・進学相談会 (オンライン、対面) 11/1 (土) 他
- 政治政策学研究科 税法オープンセミナー 10/11 (土)

聖学院中学校・高等学校

- 学校説明会 7/26 (土) * / 11/12 (水) *
- 学校説明会・体験会 7/12 (土) / 8/23 (土) / 9/13 (土) / 10/25 (土)
- 高校受験対象学校説明会 9/6 (土) * / 10/25 (土) *
- 校内見学会 9/20 (土) / 10/11 (土) / 11/8 (土)
- 帰国生対象入試説明会 10/18 (土) *
- 入試対策説明会 11/29 (土) / 12/20 (土) / 1/10 (土)
- 創立119周年記念祭 11/1 (土) / 11/3 (月・休)

*＝オンライン

女子聖学院中学校・高等学校

- 学校説明会 8/2 (土) / 9/13 (土) / 9/27 (土) / 11/15 (土) / 11/29 (土)
- 夏の女子聖体験日 7/19 (土)
- 入試問題対策会 10/4 (土) / 10/11 (土) / 10/18 (土) / 11/15 (土)
- 入試体験会 12/6 (土)
- 入試直前講座 1/10 (土) / 1/17 (土)
- 創立120周年記念祭 11/1 (土) / 11/3 (月・休)

聖学院小学校

- 学校説明会 9/5 (金)
- 体験授業 7/12 (土)
- 学校見学会 8/23 (土)
- 聖学院フェア 9/20 (土)

聖学院幼稚園

- 幼稚園説明会 9/3 (水)
- 幼稚園見学day 9/11 (木)
- 聖学院フェア 9/20 (土)
- 運動会 10/11 (土)

Special News

今までとは趣向を変えた演奏 聖学院メサイア合唱団演奏会

3月22日 (土) 聖学院中高講堂にて『第17回聖学院メサイア合唱団 演奏会』が開催され、多くの来場者に感動を与えました。昨年はメサイア全曲を演奏しましたが、今年は趣向を変えて、讃美歌や宗教曲などが演奏されました。概要は以下の通りです。

- 第1ステージ
日本語の讃美歌で聴くクラシック
- 第2ステージ
宗教音楽の歴史を辿る (ジョスカン・デ・プレ、パレストリーナ、シューベルト)
- 第3ステージ
ヘンデル「メサイア」2部抜粋～受難から復活へ～
指揮：長岡聡季
独唱：星川美保子
伴奏：佐藤麻衣子
合唱：聖学院メサイア合唱団



ASF NEWS

賛助広告について

オール聖学院フェローシップ(ASF)とは聖学院と関わりのあるすべての皆様のことを示します。

卒業生、在校生とその保護者、教職員の皆様はもちろん、日頃より聖学院各校の学校運営に様々な形で携わっていただいている企業様、卒業生や保護者が経営される企業様など、すべての皆様が聖学院の仲間(フェローシップ)であると私たちは思っています。

今回も、聖学院フェローシップとして、多くの企業様より賛助広告へのご協賛をいただいております。次ページ以降で紹介していますので、ぜひご覧ください。

ASF NEWS

賛助広告募集のご案内

ASF NEWSでは、毎号賛助広告を募集しております。企業・団体の皆様には、広告掲載についてご検討いただきますよう、お願い申し上げます。詳しくはASF事務局までお問い合わせください。

●ASF NEWSについて

発行部数 約40,000部 ※発行部数は変動することがあります。

発行予定日 毎年6月中旬～下旬

対象読者 聖学院各校卒業生、在校生保護者、ASF会員、教職員、その他

広告申込先
(お問い合わせ先)

掲載のお申し込みは、発行予定日の2か月前より受け付けいたします。掲載スペースにより料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

学校法人聖学院広報センター ASF事務局

TEL: 03-3917-8530 (平日9:00~17:00)

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 E-mail: pr_h@seigakuin-univ.ac.jp

夢にみた

「運転士」
として働く

西武バスグループ

バス運転士募集

学歴不問！未経験者歓迎

大型二種取得支援制度 有

西武グループの福利厚生

採用や求人内容に関する
お問合せ・応募は、コチラ

☎ 04-2995-8115

(受付時間：平日9時～17時)



 西武バス

 西武総合企画

 西武観光バス

パソコンやスマートフォンでも NACK5をお楽しみください!

radiko.jp

埼玉・東京・神奈川・千葉・群馬・栃木・茨城で
無料配信中。月額 350 円（税別）のエリア
フリー聴取サービス「radiko.jp プレミアム」
では、「radiko.jp」に参加している
ラジオ局の番組を全国各地どこに
いても聴くことができます。



<http://radiko.jp/#NACK5>

公式SNS

最新情報を発信しています。
是非チェックしてください!



@fm_nack5



FM Nack5 79.5MHz



www.nack5.co.jp



三省堂書店
BOOKS SANSEIDO



(公財)日本中学校体育連盟推薦
(公財)日本中学校体育連盟シンボルマーク付



(公財)全国高等学校体育連盟協賛
インターハイ協賛



(公社)全国高等学校文化連盟協賛
All Japan Senior High School Cultural Federation

東京営公学生服株式会社

東京都中央区東日本橋2-2-5 TEL:03(3864)7000

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



pure Hawaiian WATER

TOELL



フリーダイヤル



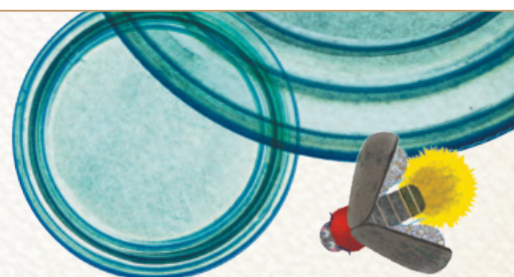
0120-15-7777

トーエル 



受付時間 9:00~19:00 (日曜日 9:00~17:30) 株式会社トーエル 横浜市港北区高田西1-5-21 東証上場 3361

Hawaiian 



もっとワクワクする
未来へ

WORK WORK

豊かで持続可能な地球を目指して。
戸田建設は、SDGsの実現に
積極的に取り組んでいます。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

www.toda.co.jp

戸田建設株式会社





すべては、挑戦から。
Everything is from a challenge.

株式会社 森田産業運輸

東京本社 〒123-0872 東京都足立区江北 2-25-10
TEL03-3890-6666 FAX03-3854-3333
埼玉営業所 〒334-0001 埼玉県川口市桜町 1-11-37
TEL048-281-5533 FAX048-281-3444
川口センター 〒334-0062 埼玉県川口市榑松 242
TEL048-282-8889 FAX048-282-8890
五霞営業所 〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋 4700-1
TEL0280-23-6602 FAX0280-23-6652
鹿浜 inonobase 〒123-0864 東京都足立区江北 6-15-8
TEL03-3857-0531 FAX03-3897-6209



グループ会社

Yasu 株式会社ヤスコボレーション

Km 株式会社ケイ・エム

THES 東京国際ニュースサービス株式会社



上品、シンプル、
スタイリッシュなデザイン

ポスター／チラシ・DM／ロゴ／web／
UI／パッケージ 他

株式会社 キュー・ジー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-7-26 1104
phone : 03-5341-4179 <https://qgp.co.jp>

庭師の技が冴えるガーデン

<http://www.obazouen.co.jp>



当社に伝わる伝統・技術・技能を社員一人一人が発揮し
よりよい仕事をより安くお客様にお届けいたします

株式会社 大場造園

〒168-0064 東京都杉並区永福2-47-12

TEL 03-3321-8688 FAX 03-3325-5329

ISO9001・2015認証取得

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社
 富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社
 埼玉支社
 〒330-6028 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
fujifilm.com/fb/company/fbj

ひとつまみの幸せ。



日常をちょっと特別な日に。



株式会社なとりは、
「東京都北区SDGs推進企業」です。

株式会社 **なとり**

代表取締役
会長兼社長 名取 三郎
東京都北区王子5-5-1



練習生募集中!!

※キャンペーン中につき、詳細はお電話でお問い合わせください。

プロ・アマチュアボクサー志望、プロライセンス取得、体力作り・健康維持、ダイエット・シェイプアップ、ストレス・運動不足解消…あなたの目的にあったトレーニングができます!

女性ひとりでも安心☆ 気軽にエクササイズ♪



金子兄弟は聖学院を応援しています。

会長の健太郎(左)は73期生、
副会長の賢司(右)は76期生。



金子ボクシングジム
 KANEKO PROMOTION CO.,LTD. KANEKO BOXING GYM

住所/東京都世田谷区北沢1-45-23

電話/03-3460-8353

もっと、ここにいたいをあなたへ



おかげさまで創業60年

「もっと、ここにいたい」をあなたへ

IZU 伊豆商事株式会社

タイル・間仕切・空調設備・住宅設備の専門商社

〒130-0023 東京都墨田区立川3-4-6

e-mail: izu_info@izus.co.jp

Web: <http://www.izus.co.jp/>

営業所案内

東京営業部(広域・城東・大塚・調布)
 埼玉(草加)・千葉・市原・佐原

聖学院大学教育支援会議 幹事

通信コスト削減、業界初の
回線管理業務コンサルティングシステム

「回線秘書」

特許第4868263号

豊富な経験と実績、高い技術力で
トータルにサポート

ナースコール 電話設備 ネットワーク
監視カメラ 施工 保守 コンサルテーション



情報と通信の
電通工業株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井5-11-2

TEL. 03-5479-3711 (大代表)

<http://www.dentsu.ne.jp/>

Coca-Cola

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 <https://www.ccbji.co.jp>
COCA-COLA EAST JAPAN Co., Ltd. (コカ・コーラ販売会社) Coca-Cola is The Coca-Cola Companyの登録商標です。

アウトソーシングで、叶える

文教支援ソリューション

Education support solution

カスタマーサービス
ソリューション

Customer service
solution



オフィスソリューション

Office solution

ドキュメントソリューション

Document solution

NEXT ▶ OUTSOURCING



日本アスペクトコア株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3

日本ビルディング九段別館6階

TEL:03-5212-7651 FAX:03-5212-7650



ライフサイクル
マネジメントで、
お客様の
資産価値を
守ります。



戸田ビルパートナーズ株式会社

代表取締役社長 有馬 弘

東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場21階

TEL:03-6628-5021

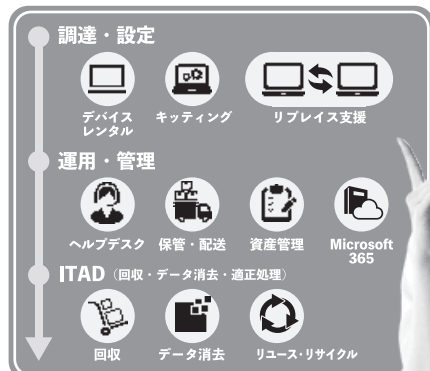
情シスの『困った』を まるっと解決！

PC-LCM サービス

PC-ライフサイクル マネジメント サービス

アウトソーシングメニュー

まるっと
お任せください！



お困りごとは ぜひお気軽にご相談ください

株式会社パシフィックネット

(東証スタンダード上場 証券コード：3021)

本社：東京都港区芝 5-34-7 田町センタービル6階(受付)・12階

☎ 03-5730-1441 営業時間 9:00~17:45 (月~金 祝日除く)



Q パシフィックネット

<https://www.prins.co.jp>



私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、
お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいり
ます。

そして、お客様が働き、学び、集い、住まう建物の
身近にあって、最良のパートナーであり続ける事
を目指します。

あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ

野村不動産パートナーズ

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

新宿野村ビル8階

教育施設事業一部 TEL 03(3345)0672

<http://www.nomura-pt.co.jp>

- スチール・木製家具
- 各種特別教室
- 黒板・スクリーン
- 学校用品

- 室内装飾
- 図書館設備
- 視聴覚設備
- OA事務機器



学びの場づくりの一翼をになって、
教育現場からのきびしい要求にお応えします。

ヤマ産業株式会社

教育備品総合商社

〒112-0015

東京都文京区目白台3-26-8

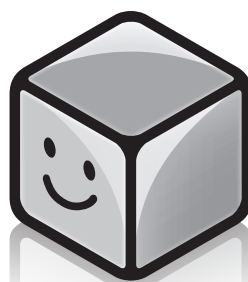
TEL : 03 (3941) 7258

FAX : 03 (3943) 3826

皆さまに笑顔と豊かさをお届けする

“グッドスマイルメディア”

を目指して



つくる、
つなぐ、
かなえる

Good Smile Media

総合印刷・マルチメディア・オンデマンド印刷・広告代理業

望月印刷株式会社

望月印刷

検索

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-195-1 大宮ソラミチKOZ 11F
TEL 048-741-9300

オフィスの悩み解決します!! オフィス見学、随時受付中

石山商工株式会社

〒360-0024 埼玉県熊谷市問屋町2-4-18 ソシオ熊谷情報センタービル6階
TEL 048-524-5581 FAX 048-524-0102
<https://www.ishiyama-s.co.jp/>

「温かくおいしく安全な給食を」

株式会社アイコーメディカル

〒485-0803 愛知県小牧市高根1-200 TEL 0120-332-354(フリーダイヤル)
<https://www.aiko-medical.co.jp>

学ぶ旅行を通じて異文化理解の架け橋に

株式会社ATI

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-4-1 神田岩本町プラザビル8階
TEL 03-5829-6396

株式会社伊藤園

〒337-0008 埼玉県さいたま市見沼区春岡3-20-4
TEL 048-687-8661 FAX 048-682-3722
<https://www.itoen.co.jp/>

日勝スポーツ工業株式会社

〒154-0005 東京都世田谷区三宿2-36-9
TEL 03-6805-2106 FAX 03-3410-7314
<http://www.nissho-sports.com/>

廃棄物を生かすカー白井グループ

白井エコセンター株式会社

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目10番14号 ばんだいビル3階
TEL 03-3897-1327 FAX 03-3857-0237
<https://www.shirai-g.co.jp>

株式会社NON

〒114-0002 東京都北区王子2-22-7-6F
TEL 03-6903-3040 FAX 03-6903-3041
<https://www.non-co.com/>

有限会社日東クリーンベスト

〒114-0002 東京都北区王子5-20-18-505
TEL 03-3914-1168 FAX 03-5390-2309

Protection Technology Service

株式会社プロテックス

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー15F
TEL 03-5464-5281 FAX 03-6450-6280
E-mail shibuya@protecs-kk.jp

室内装飾

株式会社 フタバ アイディ

〒116-0012 東京都荒川区東尾久1丁目22番5号
TEL 03-3809-5505 FAX 03-3893-9530

聖学院小学校 女子聖学院 制服指定店

株式会社ヨシザワ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-15 八重洲通ビルヂング 9F
TEL 03-3271-4996 FAX 03-3281-8331
<http://www.yoshizawa-uni.co.jp>

株式会社防災整美

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-5 岩清日本橋ビル7F
TEL 03-5695-1781 FAX 03-5695-1785

明日の教育広報を創る

株式会社 梁プランニング

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 二宮ビル3F・5F
TEL 03-3350-2051 FAX 03-3350-2050
<https://www.ryo-net.co.jp/>

発行	2025年6月25日(年1回発行)
通巻	63号
発行所	学校法人聖学院広報センター 〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 TEL:03-3917-8530
デザイン	株式会社QG
印刷所	株式会社技秀堂

漆・華・音

伝統も独創も、とどまることなく未来へ。



製造元

柳澤管楽器株式会社
<https://www.yanagisawasax.co.jp/>

Special edition

聖学院歴史探訪

特別編 聖学院 発祥の地 記念碑建立



記念碑

2025年1月、聖学院発祥の地に記念碑が完成しました。その碑の建立を記念し、1月27日(月)、「聖学院発祥の地 記念碑建立感謝礼拝」が執り行われました。

発祥の地は、聖学院創立120周年を機に組織された調査研究チームにより、2024年に特定されました。住所は「東京都文京区本郷6-25-13」です。本郷通り(国道17号)に面しており、東京大学の正門から200mほど北にあります。

現在の聖学院の母体である聖学院神学校は「本郷基督教会堂」を仮校舎として1903年に開校しましたが、会堂が閉鎖されて以来、正確な位置が不明となっていました。古地図等を調査した結果、本郷基督教会堂は当時の「東京市本郷区森川町二番地」にあったことが確認され、現在の住所(=発祥の地)が特定されました。その場所には現在、柏林社書店が建っています。



記念碑建立感謝礼拝

学校法人 **聖学院**

理事長／小池 茂子 院長／菊地 順
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-8351
ホームページ <https://www.seig.ac.jp/> E-mail pr_h@seigakuin-univ.ac.jp

■さいたま上尾キャンパス

聖学院大学

- ・政治経済学部／政治経済学科
- ・人文学部／欧米文化学科(国際文化学科[※]) 日本文化学科 子ども教育学科
- ・心理福祉学部／心理福祉学科

※2026年4月より「欧米文化学科」は「国際文化学科」に学科名称変更予定
学長／小池 茂子 創立／1988年 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel 048-781-0925

聖学院大学大学院

政治政策学研究科／文化総合学研究科／心理福祉学研究科
創立／1996年 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel 048-780-1801

聖学院みどり幼稚園

園長／赤田 直樹 創立／1978年
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820 Tel 048-622-3864

■駒込キャンパス

聖学院 中学校 高等学校

校長／伊藤 大輔 創立／1906年
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1 Tel 03-3917-1121

女子聖学院 中学校 高等学校

校長／安藤 守 創立／1905年
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-2277

聖学院小学校

校長／田村 一秋 創立／1960年
〒114-8574 東京都北区中里3-13-1 Tel 03-3917-1555

聖学院幼稚園

園長／小久保 京子 創立／1912年
〒114-8574 東京都北区中里3-13-2 Tel 03-3917-2725

●インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード(JCB、VISA、MasterCard、アメリカン・エクスプレス、ダイナースクラブ)での寄付が可能です。下記URL、二次元コードにアクセスください。

<https://www.seig.ac.jp/asf/>



住所変更・広報誌の発送停止・PDF配信への変更・お問い合わせ

<https://www.seig.ac.jp/asf/contact/>

学校法人聖学院ASF事務局

Tel 03-3917-8530 (月～金 9:00～17:00)

